



地震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

○金谷地区の地震による危険

震度5強から震度6弱の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

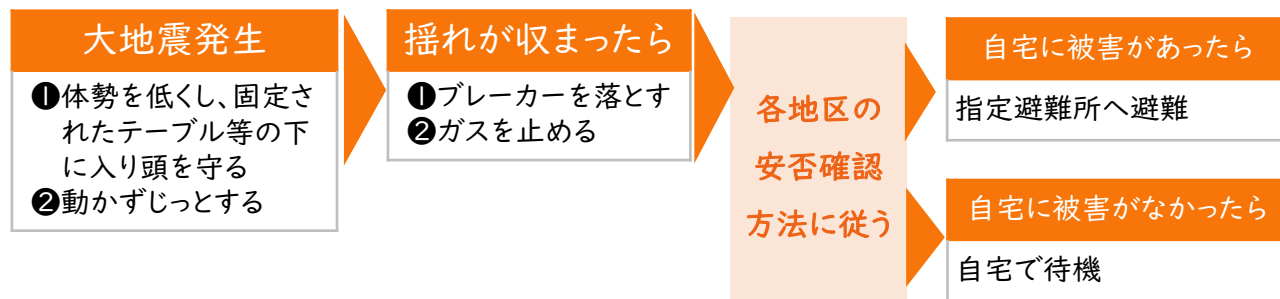
○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる	物につかまらないうと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったたり、道路に段差が発生したりする可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

○大地震発生時の行動



ア 地区の安否確認方法を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

★金谷地区の安否確認方法

(金谷研修センター) に集まる

情報収集手段に関する紹介

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。

・伊豆の国市公式LINE



・伊豆の国市Eメール



避難情報やハザードマップが確認できます。

・静岡県防災アプリ



2次元コードが読み込めない場合は、名前で検索してみよう！

静岡県防災アプリ

検索

土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。

・気象庁キキクル(土砂災害)



・国交省川の防災情報(狩野川)



伊豆の国市 金谷地区

わたしの避難計画 作成ガイド

<目次>

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

P1

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

P2

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

P3

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

P4

<見本>

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

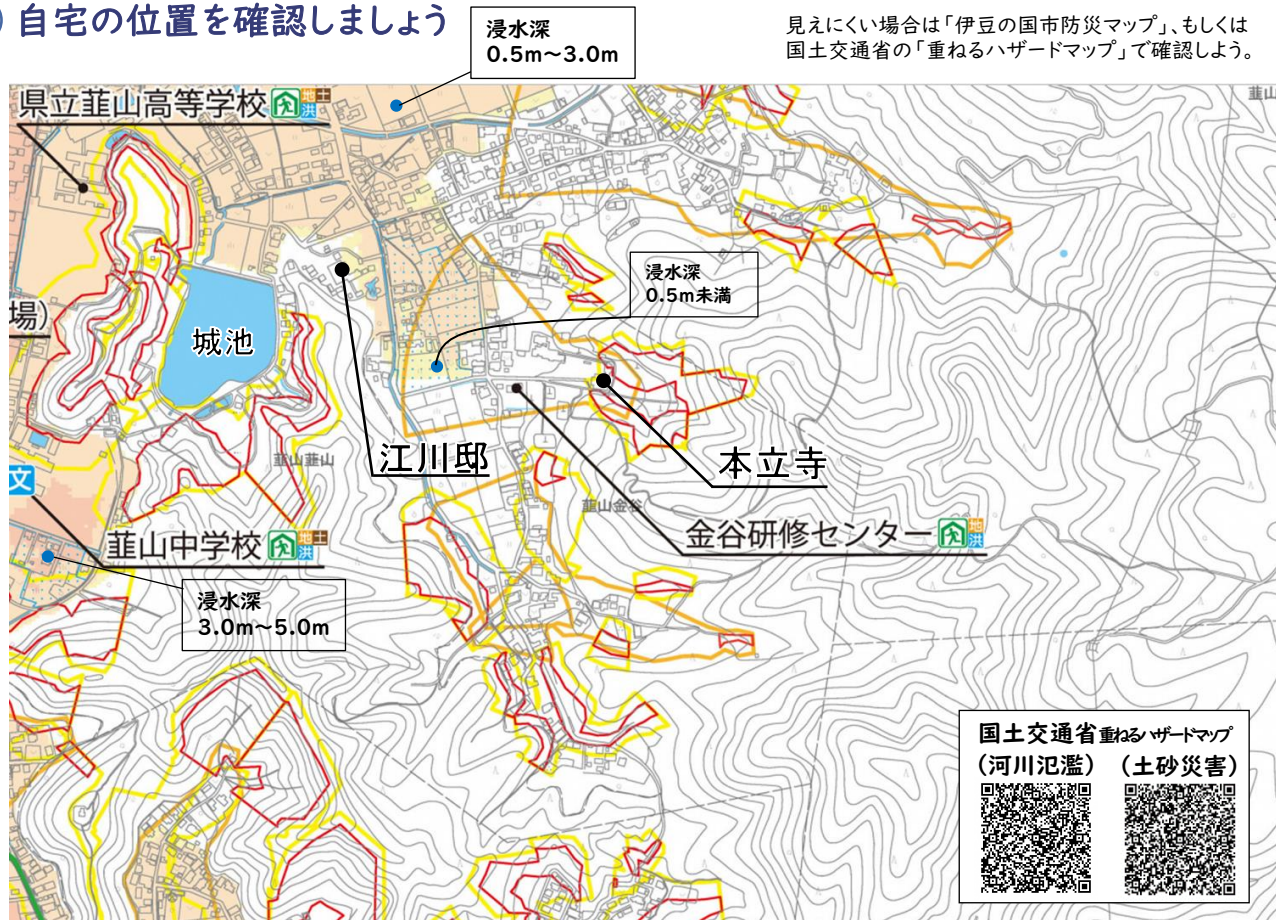
- 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらう方を決めておきましょう。

次のページに進もう→

大雨(河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう



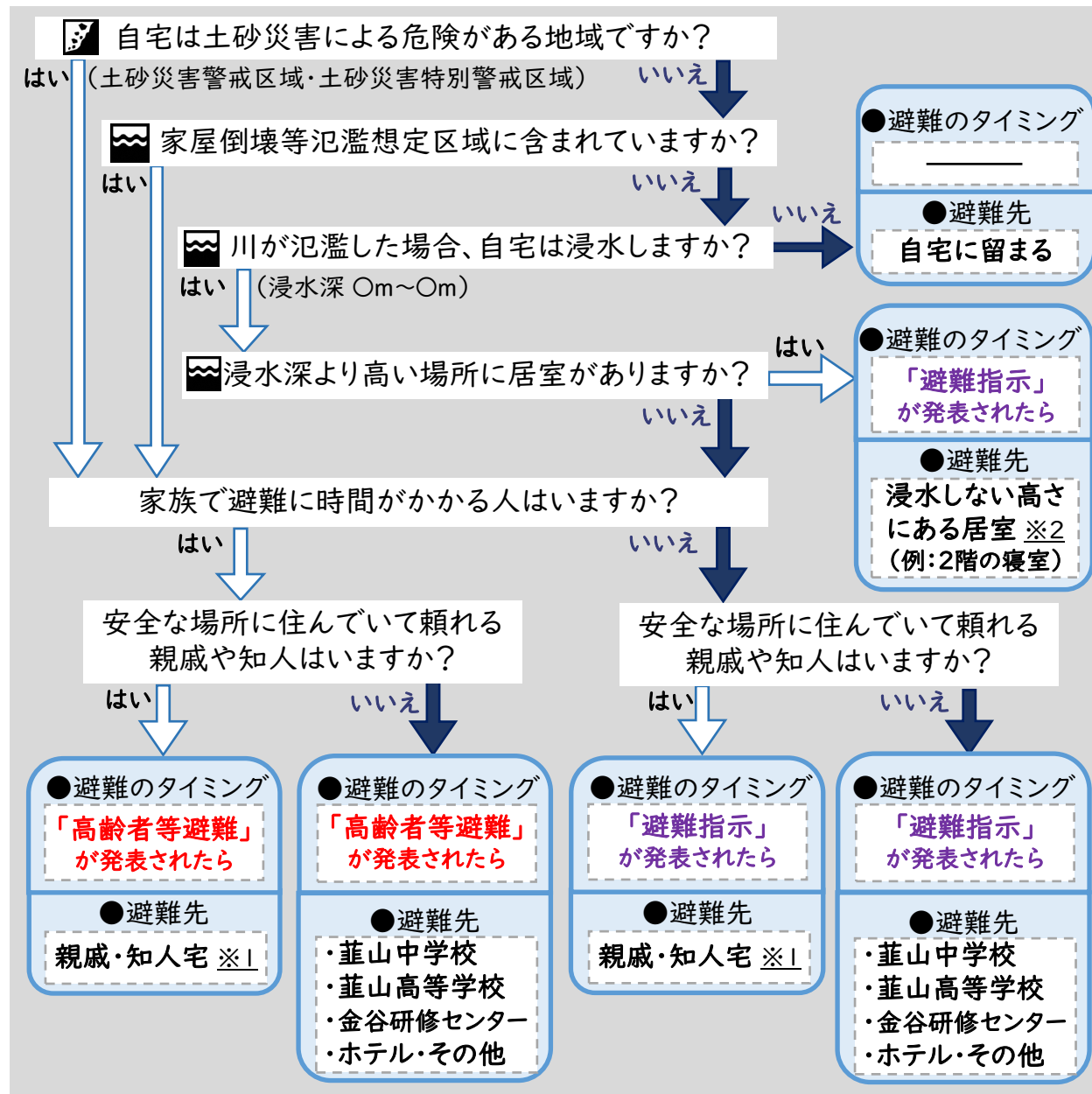
※出典:伊豆の国市防災マップ

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

河川氾濫による危険	土砂災害による危険							
○家屋倒壊等氾濫想定区域 川が氾濫した場合、家屋が流出するおそれがある区域 ○浸水想定区域(浸水深) 川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域 <table><tr><td>浸水深5.0m以上の区域</td><td rowspan="4">早期立退き 避難区域</td></tr><tr><td>浸水深3.0m~5.0m未満の区域</td></tr><tr><td>浸水深0.5m~3.0m未満の区域</td></tr><tr><td>浸水深0.5m未満の区域</td></tr><tr><td>浸水なし</td><td></td></tr></table>	浸水深5.0m以上の区域	早期立退き 避難区域	浸水深3.0m~5.0m未満の区域	浸水深0.5m~3.0m未満の区域	浸水深0.5m未満の区域	浸水なし		○土砂災害警戒区域 土砂災害のおそれのある地域 ○土砂災害特別警戒区域 土砂災害が発生した場合、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある地域
浸水深5.0m以上の区域	早期立退き 避難区域							
浸水深3.0m~5.0m未満の区域								
浸水深0.5m~3.0m未満の区域								
浸水深0.5m未満の区域								
浸水なし								

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておこう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況 ・伊豆の国市公式LINE ・伊豆の国市Eメール	避難情報やハザードマップ ・静岡県防災アプリ ・その他アプリ	避難情報やニュース ・テレビ ・ラジオ ボタンで避難情報表示 (FMいずのくに・Radimo)
---	--------------------------------------	--

※市の公式LINEやEメール、県防災アプリについて、4ページに2次元コードを掲載しています。